



みゆき

小松市立御幸中学校

学校だより

NO. 9

令和2年9月18日

文責：校長 河南光昭

3年生たちの思いを胸に・・・

皆さんもすでに目にしたと思いますが、数日前から「みゆきギャラリー」に、新人大会を前にした各部活動及び選手に宛てたメッセージが掲示されています。

これは3年生たち一人ひとりが、時間の合間を見て、16枚の布にそれぞれの部活動や選手にあててエールを送る言葉を添えて寄せ書き風を書いてくれました。驚いたのは9つの学校部活動のみならず、社会スポーツ所属の競技選手たちへも宛てたものがあつたことでした。また、模造紙ではなく、布に書かれたものであるため掲示物としても素晴らしいものになりました。



3年生たちは1・2年生の選手・部員諸君たちの頑張りを認め、そして期待し、応援しています。

左は女子バレーボール部宛てのものですが、題字に「一期一会一球」とあります。「一期一会」の本来の意味は、『一生に一度だけの機会。生涯に一度限りであること。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意。茶道の心得を表した語で、どの茶会でも一生に一度のものと心得て、主客ともに誠意を尽くすべきこと。』をいいます。ですが、最後の『一球』というのがミソですね。試合中の一つ一つの場面や瞬間にあたり、その時限りのボールに集中し、全力を尽くすと意味合いがあるのだらうと思います。また、「センスは磨くもの 才能は開花させるもの」という言葉も印象的です。誰か有名人の言葉なのかもしれませんが、「宝の持ち腐れ」になってはもったいないですね。要は、センスも才能も、「努力」あつてのものだということでしょうね。

この4連休で練習試合等も盛んに行われるでしょうが、来週末の本大会の力試しであり、前哨戦であり、また、積み上げてきたものの確認の場でもあり、調整の場でもあると思います。やや天候も心配ですが、とにかく、ケガに注意して実戦の勘を養ってください。

「頑張れ、1・2年生選手諸君。

そして、ありがとう、3年生。」

